

令和4年度 第2学年次 第5回 RAP応用A ワークシート①



【振り返り】

(1)探究とは

答えがあるかどうかははっきりしない()に対して、それを調べるところから始まる…

(2)疑問文を作る場合にはまず、「5W1Hの視点」で考えてみるといい！

①「何？ ()」の疑問文

→知識や情報を求める問いになります。まずキーワードについて「～とは何か？」という疑問文を作ってみることから始めてみよう！その意味や背景を調べることは自分の探究を始める第一歩になります。

②「どこ？ ()」の疑問文

→場所や範囲を特定する問いです。「どこで起こっているのか？」「どこから来たのか？」「どこを目指しているのか？」「どの位置にいるのか」などを求めています。

③「いつ？ ()」の疑問文

→時間や時期に関する問いです。「いつやったのか？」「いつ始まったのか？」「どのくらい時間がかかったのか？」などを求めています。

④「誰？ ()」の疑問文

→人に関する問いです。「誰か？」「誰に？」「誰から？」「誰を？」などを求めています。

⑤「なぜ？ ()」の疑問文

→理由や原因を求める問いです。「なぜそうしたのか？」「なぜ失敗したのか？」「なぜそうするのか？」など、原因・理由・目的を求めています。

⑥「どのように？ ()」の疑問文

→方法や仕組みを求める問いです。「どのように進んでいる？」「どのように行われているか？」「どうすればよいか？」などを求めています。

【望ましい疑問（課題）と望ましくない疑問（課題）】

探究学習を進めていくために、これは望ましくない疑問（課題）つまり、テーマというものが考えられます。

①：() タイプ

→() 同じ()になる可能性が高い。調べてればすぐに分かっ
てしまうものは探究にはふさわしくないとされます。

②：() タイプ

→それが実現できるかどうかは、個人の()や()による
ところが大きくなってしまう可能性がある。

③：() タイプ

→()とした未来の予測になり()言ってしまう可能性が高い。

④：() タイプ

→()や()課題で()的な結論になり、
()作業となってしまう可能性がある。